

認定 NPO 法人 横浜移動サービス協議会
令和 3 年(2021)度 R3. 10. 1～R4. 9. 30
事業報告書

定款項目対比表

| 定款項目 | 部門 | 事業 | 事業名 | 頁 |
|--|----------------|--------------|---|----|
| (1) 移動に関する情報提供・相談に関する事業 | 自主事業 | 相談 | ① 相談室 ② お出かけ便利帳 | 3 |
| (2) 要支援者の介護予防・日常生活支援総合事業、その他高齢者等に対するサービスに関する事業 | 制度利活用 | 移動支援 | ① 福祉有償運送「さぼーと・横浜」 | 4 |
| | 制度利活用 | 自律支援 | ② 横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業サービスB「アベリティーヴォ」 | 5 |
| | 自主事業 | ユニバーサルツアー推進 | ③ お出かけ事業 ④ ユニバーサルツアー推進 | 6 |
| (3) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス、地域生活支援及び児童福祉法に基づく障害児通所支援、その他障害者等に対するサービスに関する事業 | 制度利活用 | 移動支援 | ① さぼーと・横浜(再掲) | 4 |
| | 制度利活用 | 移動支援 | ② ガイドヘルパー(障害者移動支援) | 8 |
| | 自主事業 | ユニバーサルツアー推進 | ③ お出かけ事業(再掲) ④ ユニバーサルツアー推進(再掲) | 6 |
| | 制度利活用 | 自律支援 | ⑤ 就労継続支援B型事業(IKIIIカンパニー) | 8 |
| | 制度利活用 | その他 | ⑥ 入院時コミュニケーション事業 | 9 |
| (4) 市民活動団体個人の支援に関する事業 | 自主事業 | 人材育成 | ① 国土交通省認定講習 | 9 |
| | 自主事業 | 人材育成 | ② ガイドヘルパー・同行援護従業者養成研修 ア. ガイドヘルパー研修 イ. 同行援護従業者養成研修 | 10 |
| | 制度利活用 | 移動支援 人材育成 | ③ 横浜市障害者ガイドボランティア事業事務取扱 ア. 横浜市障害者ガイドボランティア イ. 横浜市障害者ガイドボランティア研修 | 13 |
| | 制度利活用 | その他 | ④横浜市重度障害者福祉タクシー利用券換金業務代行 | 15 |
| | 交流&ネットワーク構築・拡大 | ネットワーク 拡大 | ⑤ 団体活動支援 ⑥ 団体連携 | 16 |
| (5) 高齢者及び障害を持つ人等が利用しやすい交通システム・まちづくりの学習検討・提言に関する事業 | 交流&ネットワーク構築・拡大 | ネットワーク 拡大 | ① 学習会、交流サロン、シンポジウム等の開催 ② 要支援者を交えた防災・減災のための取り組み | 18 |
| (6) 公共交通機関、医療機関、福祉機関、行政、社会福祉協議会、福祉活動団体などとの連携・協働に関する事業 | 交流&ネットワーク構築・拡大 | ネットワーク 拡大 | ① 横浜市等関係部局との連携 | 19 |
| (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業 | 総務 | その他 | ① よこはま市民共同オフィスの運営・管理 | 19 |

1 事業概況

平素から会員の皆様におかれましては、多大なるご支援ご鞭撻ありがとうございます。

当会、認定 N P O 法人横浜移動サービス協議会はできてから今年で 20 年経ちます。その間にいろいろな事業をしてまいりました。横浜市からの福祉タクシー利用券換金業務、ガイドボランティア事業(含むガイドボランティア研修)、アペリティーヴォ(横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業サービス B)、国土交通省認定講習、ガイドヘルパー移サぴょん、ガイドヘルパー研修、同行援護従業者研修、さぼーと・横浜(福祉有償運送)、チャレンジ・ド・サロンなどがあります。

そして、1 月から新しい企画として、IKIINKI カンパニー(就労継続支援 B 型事業)を開設いたしました。

去年一年間は一昨年を引き続きコロナの影響で障害者は家にこもりがちで、同じく高齢者もこもりがちな日々を過ごしていました。そんな中でも IKIINKI カンパニーはその経営が難しく皆さんの協力なしでは立ち行かないところまでできてしまいました。しかし所長の強い意思の元、必ず笑顔で報告できると理事共々心一つにしています。

山あり谷ありですが明るい明日に向かって歩いていく私たちをどうか応援して下さい。

理事長 服部一弘

2 各事業報告

(1) 移動に関する情報提供・相談に関する事業

①相談室

【事業概要】

平成 14 年全国社会福祉協議会の「インフォーマル協働研究」モデル事業で“断らないで済むシステムづくり”を目指して、『よこはま移動サービスセンター』を開設しました。

その後、平成 18 年、19 年に、横浜市協働提案モデル事業で、高齢在宅支援課との協働で『お出かけ相談室』が始まりました。

【活動実績】

- ・電話対応に用いる「相談資料ファイル」を整備しました。内容について全スタッフの共通理解を深めるため、事務局会議の中で、各担当から事業概要や現状を共有し、誰が対応しても適切な情報が提供できる体制づくりを目指しました。担当以外の業務内容をしることで、相互協力が進みました。
- ・Web 上での情報発信の検討など、気軽に相談でき、利用者と支援者をつなぎ、タイムリーに多様な支援マッチングを目指し、(株)アイネット、LOOVIC(株)の 2 社と連携し、「タクシー配車システム等を用いた移動支援コーディネート事業」を事業再構築補助金第 6 回に提出しました。しかし、残念ながら採用されませんでした。

【所感】

事業再構築補助金申請では、委員コメントとして厳しい指摘を受けましたが、「先端的なデジタル技術の活用による新しいビジネスモデルの構築を通じて、地域のイノベーションに貢献している計画になっていると感じられる」という 3 社で目指していたポイントを評価されたため、内容を精査し次回再申請の為に継続して見直しています。

【今後の展望】

ガイドヘルパーの不足、横浜市 18 区社会福祉協議会をはじめ福祉有償運送団体の撤退が続いています。そのような中で、横浜市障害者タクシー利用券の換金業務での介護タクシーとの連携、ガイドヘルパー養成研修受講者の就労促進など、当会独自の移動支援サービスの拡充を目指し、新しい視点でのネットワーク活用による移動支援を展開していきたいと思っております。

事業開始：平成 14 年 4 月
スタッフ：鈴木、江口、服部、山野上
活動日時：平日 10 時～17 時
さぼーと・横浜は随時
活動場所：事務所及び緊急連絡先による対応
関係機関等：福祉タクシー券換金事業所、移動支援事業者連絡会、移動情報センター他
受益対象者：市内高齢者、障害者等
移動困難者等

②お出かけ便利帳

【事業概要】

高齢や障害の為に外出を諦めている人たちも、ちょっとした手助けや情報を提供することで、「外出の先に待っている“楽しみ”」を伝えたいと思っています。

【活動実績】

改定版発行には至りませんでした。

平成 18 年度版発行が最後ですが、本年度も、問い合わせがあり、送料ご負担いただき無料で配布しました。今年度、事業再構築補助金第 6 回に、横浜市福祉タクシー券換金事業者との連携による配車管理システムを提案しましたが、採択には至りませんでした。引き続き第 8 回の申請に挑戦するために、(株)アイネットと再調整を行っており、換金事業者の中で、協力いただける事業者呼びかけを行っています。再構築事業の前段として事業者情報をまとめたものを発行することを検討しています。

【所感】

横浜市のホームページに、「福祉有償運送実施団体」が掲載されていますが、登録された旅客の範囲程度の情報しかなく、受け入れ困難と記載されている事業者も多いため、実際に利用したい時に必要な情報が満たされているとは言えない状況です。

【今後の展望】

ITの活用による配車コーディネートと並行して、集めた情報を紙ベースでの発行も必要とされており、労力をかけずに発行できるように工夫したいと考えています。

事業開始：平成 18 年 10 月

スタッフ：山野上

活動概要：平成 18 年、19 年に、横浜市協働提案モデル事業で、高齢在宅支援課との協働『お出かけ相談室』『運転者研修』『移動サービス団体情報誌』を展開。その中の団体情報誌の抜粋版として、利用者向けの情報誌を「お出かけ便利帳」と命名し、現在に至る

受益対象者：横浜市全域の高齢者及び障害者

(2) 要支援者の介護予防・日常生活支援総合事業、その他高齢者等に対するサービスに関する事業

①福祉有償運送「さぼーと・横浜」

【事業概要】

ひとりでは公共交通機関を利用することが困難な移動制約者に対し、移動の確保を行い、自身の社会参加や自立の向上を図ります。

他人の介助に頼らずに移動することが困難であり、単独でタクシー等の公共交通機関を利用することが困難な身体障害者、要支援者、その他障害を有する方々に対して車による移動支援を実施します。

【活動実績】

1 月法人車両の大魔神号と 24 時間テレビ寄贈のハッピーバード 1 号を廃車処分。現在 2 台の法人福祉車両と 9 台のドライバーによる持ち込み車両で運行中。登録ドライバー 12 名、登録利用者 26 名。運行件数 335 件（ポンテを除く）3 月末にはみはらしポンテでの施設送迎を終了。コロナ感染拡大による利用のバラツキ有り。

【所感】

ドライバーも少なく、利用の需要はあるものの希望に沿うことが出来ずジレンマを感じます。老朽化のため維持費のかかる法人車両 2 台を廃車処分したが、事業としては赤字が続いています。車いすユーザーは福祉車両が少ないため対応が厳しいが、車いすからの移乗が出来る方や、知的障害などで普通の車両でも大丈夫な方は、持ち込み車両のボランティア精神あふれるドライバーさんが頑張っているため、たくさんではないが今後も希望に添える見通し。

【今後の展望】

現行の福祉有償運送の制度下では多くの団体と同じように継続は難しく事業の赤字をなくすためには、維持費のかかる法人車両をすべて処分する方法しかありません。それにより、車いすご利用の方は、(株)アイネットと開発中の配車アプリの利用をおすすめしたり、介護タクシーへシフトしてもらう方向。持ち込み車両に関しては、気持ちのあるドライバーさんがいる限り、継続して利用者の希望に沿っていきたいと思います。

事業開始：平成 16 年 10 月

スタッフ：事務局 天野

ドライバー 12 名

活動日時：全日

活動場所：横浜市内発着の運行

関係機関等：障害福祉各関係機関

受益対象者：市内全域の移動困難者

支出額：4,865,519 円

【こぼれ話】

施設送迎でお世話になっていた、放課後等デイサービスの事業所から、皆でズーラシアに行きたいとご相談をいただきました。当会から2台と介護タクシー1台の3台で共同運行。ゴールデンウィークで大混雑の中、少し離れたところでの乗降となってしまいましたが、お天気も良く気持ちの良いお出かけの一日を楽しんでいただきました。中区に事務所があるため、中区にお住まいの方からの相談が多いですが、放デイを卒業して活動ホームの日中活動や、個別のお出かけなど、違う場面で成長された姿を見せていただくことも多く、地域でドライバーをやっていて良かったなと嬉しく感じています。

② 横浜市介護予防・生活支援サービス 補助事業サービスB「アペリティーヴォ」

【事業概要】

3年目を迎えたコミュニティサロン「アペリティーヴォ」(通称: サービスB)は、介護保険で要支援と認定された方を中心に高齢者を対象とした横浜市の補助事業です。

当会では一般的な福祉デイサービスのイメージと違った魅力づくりに拘り、新型コロナウイルス感染予防に徹し、試行錯誤を繰り返しながら実施しました。

当会の強みを活かし、運営スタッフに障害当事者をホストやボランティアを加え、また、介護予防プログラムを共同オフィス利用団体やこれまでのネットワークから多彩なゲストに活躍いただきました。

【活動実績】

水曜開催回数: 36回 参加者総数: 432名(スタッフ含む)
水曜日 13:00~16:00(15:30~16:00 ワンドリンク提供し交流タイム)
水曜以外 13:00~16:00の間で参加者の都合により来所可

事業開始: 令和2年4月

スタッフ: 服部、山野上、江口

後藤、福田、鈴木

活動日時: 毎週火~土曜日

活動場所: よこはま市民共同オフィス

関係機関等: 横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課、中区福祉保健センター高齢・障害支援課、中区社会福祉協議会、横浜市不老町地域ケアプラザ他、中区内各地域ケアプラザ、よこはま市民共同オフィス入居団体等

受益対象者: 介護保険要支援者他興味のある方
支出額: 1,842,174円

| 月 | 回数 | 内容 | 参加者数 |
|----|----|-------------------------|------|
| 10 | 4回 | 芸術の秋!世界で一つだけのモノづくり☺ 他 | 39名 |
| 11 | 3回 | 転倒予防&筋力アップ体操🧘 他 | 22名 |
| 12 | 4回 | クリスマス&望年会でワイワイ🎉 他 | 43名 |
| 1 | 2回 | 健康体操で新年もハツラツ! 他 | 23名 |
| 2 | 0回 | 新型コロナウイルスによる蔓延防止宣言に伴い休止 | 0名 |
| 3 | 4回 | 春の訪れを感じながら健康体操🌸 他 | 42名 |
| 4 | 4回 | 紙芝居でほっこりリラックス♪ 他 | 38名 |
| 5 | 3回 | 座ったままのヨガでニコニコ☺ 他 | 32名 |
| 6 | 4回 | 世界で一つだけのうちわ作り☺ 他 | 36名 |
| 7 | 4回 | 初夏を感じながらカラダを動かそう🌻 他 | 36名 |
| 8 | 4回 | 手作りエコバックで気分上昇♪ 他 | 42名 |
| 9 | 4回 | 健康体操で残暑を吹き飛ばそう🌪 他 | 43名 |

今年度は4月から区役所や区内ケアマネジャー等関係機関の会議に参加させてもらい、3年目の周知を行いました。コロナ禍で各地のサロン展開が難しい中、「見学の受け皿」として期待していただき、誰もがイキイキと過ごせる居場所として感染予防対策を徹底しながら実施しました。

また、介護予防プログラムの水曜以外にも神奈川ロイヤル(株)様のご協力で「語ろうみらい」でマイライフノートや小説にチャレンジしたり、「元気で長寿はお茶が一番」と題し本格台湾茶を楽しんでいただきました。当会のガイドボランティア研修を兼ねた「転ばぬ先の杖」の車いす体験と介助方法を学ぶ場を企画する等、様々な工夫をしながら取り組みました。

【所感】

今年度は参加者確保をめざし、参加費値下げを検討したものの、区や区社協からのアドバイスにより「拘り」を徹底しつつ、変更なく実施しました。要支援者の参加実績はなくてもアペリティーヴォを通して当会が関内地区との人脈や連携した取り組みが広がっていることが嬉しいです。今後も地域との繋がりを大切に居場所づくりがしたいです。



- 1)「IKIINKI カンパニー」で手作りエコバックのワークショップを実施。お抹茶をいただきながら交流タイムでお喋り。
- 2) 想いのままに描き右脳を活性化。作品はお世話になっているアークシップさん主催「ホッチポッチ」で披露。
- 3) 介護予防プログラムの水曜以外でもイベント企画。お茶の効能を学びながら本格台湾茶を堪能。

【今後の展望】

開設から3年目となり、横浜市のサービスB本来の対象である介護保険「要支援者」確保が変わらず課題になっています。3月までの半年間で成果が問われるため、更に関係機関への周知を徹底し、特に対象者と直接関わるケアマネジャーの方々に意見を伺いながら、打開策を検討します。

また、当会の特色を活かし、要支援者に限定せず介護予防を幅広く捉え、参加した方（携わるスタッフ・ホスト含む）がそれぞれお互いを認め・支え・高め合い、自分らしく過ごせる居場所づくりをめざします。

【こぼれ話】

開設当初から参加くださっている方のご尽力により、アペリティーヴォに限らず当会事業へのご理解とご協力をいただく機会が増えました。特に「IKIINKI カンパニー」が製作しているエコバックをイベント用に発注や販売の機会をご提供いただきました。また、中区地域福祉保健計画の一環である「中なかいいね！ 関内地区計画推進会議」に7月（隔月定例開催）参画することになり、地域にねぎした取り組みにつながりました。

③お出かけ事業

【事業概要】

今年度は従来の「お出かけ企画」から見直しを図り、バリアフリー探検事業や交流サロン事業との連携をめざし、「お出かけ事業」として取り組むことになりました。

当会ネットワークを活かし、関係機関と協働で企画実施することで、活動の幅を広げました。

事業開始：令和4年1月

スタッフ：田中・江口・鈴木

活動日時・場所：企画に応じて設定

関係機関等：

神奈川県共同募金会、NPO 法人アークシップ、
NPO 法人シーホース工房、横浜開港アンデパンダン展実行委員会、横濱ジェントルタウン倶楽部
受益対象者：市内全域のサービス受給対象者

【活動実績】

- ・ ホッチポッチミュージックフェスティバル(横浜公園)10/24 実行委員の一役を担い企画運営。
- ・ 禅林のシンフォニー(緑区忠暘院)11/28 コンサート&竹楽器制作に協力参加。
- ・ 平面プロレス(横浜ノイエ)8/14、(伊勢山皇太神宮)会場のバリアフリー探検を含め車椅子で参戦。
- ・ むくもりビンゴラリー横濱(関内通り)11/13 障害者とサポーターでチームを組みビンゴゲームで街巡り。

その他、国際福祉機器展の見学や桜植栽培への参加等、コロナ禍でも感染対策を徹底し取り組みました。また、新たに「横移動オープンテニス倶楽部」を発足。障害の有無・種類・年齢等に関係なくごちゃごちゃニューミックスダブルスで気持ちよく遊ぼう！を企画し、月1回ペースで交流を深めました。

【所感】

コロナ禍が長引く状況で当会独自事業が難しい中、共同オフィス利用団体の NPO 法人シーホース工房や横浜開港アンデパンダン展実行委員会関係者と連携。また、例年実行委員会の一員となっている「ホッチポッチミュージックフェスティバル」としてイベントに参画することで有意義な取り組みができました。

新たにスタートしたテニス倶楽部では車椅子ユーザーでもプレーできる工夫を試行錯誤しながら共に楽しみました。

【今後の展望】

懸案となっているツーリズムとの兼ね合いを検討しつつ、気軽にお出かけの機会を設け、障害の有無は勿論、世代を越えて交流や同じ体験ができ、自然に親しめるようにしていきます。



④ユニバーサルツアー推進

【事業概要】

当会が、企画から実施までの全体を行い、参加者は現地集合や車両での送迎を選択します。

【活動実績】

ユニバーサルイベント(ミニトリップ)

- ・ 馬場花木園野点到親しむ(鶴見区馬場花木園)12/10
茶室で野点をし、園内のバリアフリー探検で散歩を実施しました。

(コロナ禍のため、実施出来なかったミニトリップ)

- ・ 秋の屋形船での海面遊覧とハゼの天ぷら賞味
- ・ 秋の仙石原のススキの景観と温泉を楽しむ
- ・ 里山ガーデンフェスタ観光

【所感】

発語・発話に難のある障害者が有用に使える 4 つのツール ①iPad②iPhone③絵カード④文字盤の多様な組み合わせと使い分けによる活用を試行し、具体的活用方法を共有化するなど、状況や相手によるそれぞれのツールの有効性と相乗効果を検証しました。

【今後の展望】

ユニバーサルツアーは、コロナ感染者数の著しい増加により、この事業の実施可能性が阻まれました。今年度目指した、当会が「企画」し、「旅行企画・実施」は旅行業登録をしている旅行会社が行い、旅行の行程の中で福祉有償運送を活用するなどの事業形態の模索を続け、大きな規模のツアーを目指していきたいと思えます。

事業開始：平成 20 年 1 月
スタッフ：江口、田中、後藤(ま)、斉木、鈴木
関係機関等：神奈川県共同募金会、社会福祉協議会、地域ケアプラザ、地域団体
従業員人員：5 人
受益対象者：高齢者、障害者等

(3) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス、地域生活支援及び児童福祉法に基づく障害児通所支援、その他障害者等に対するサービスに関する事業

① さぼーと・横浜(再掲)

② ガイドヘルパー (障害者移動支援)

【事業概要】

単独で外出が困難な障害者に対してガイドヘルパーが付き添うことで障害者の自立と社会参加を促進します。ご家族の負担軽減と利用者児童・生徒の成長や自立支援を行っています。

事業開始:平成 25 年 4 月
 スタッフ:山野上、奥本、後藤(ま)、古田中
 ガイドヘルパー 18 人
 活動日時:1 日の範囲で終了する外出
 活動場所:日用品の買い物、理容室、家族の学校行事、余暇活動(映画、動物園、水族館、公園等)
 通学先、通所先
 関係機関等:横浜市健康福祉局障害福祉課
 受益対象者:18 人
 (利用対象)支給決定を受けた知的障害者・全身性
 支出額:2,474,835 円

【活動実績】

| 日付 | 利用人数 | 利用時間 |
|-------------|------|---------|
| 2021 年 10 月 | 7 人 | 34 時間 |
| 2021 年 11 月 | 6 人 | 29 時間 |
| 2021 年 12 月 | 6 人 | 21.5 時間 |
| 2022 年 1 月 | 6 人 | 18.5 時間 |
| 2022 年 2 月 | 7 人 | 24.5 時間 |
| 2022 年 3 月 | 10 人 | 43.5 時間 |
| 2022 年 4 月 | 9 人 | 50.5 時間 |
| 2022 年 5 月 | 9 人 | 62.5 時間 |
| 2022 年 6 月 | 8 人 | 56.0 時間 |
| 2022 年 7 月 | 9 人 | 79.5 時間 |
| 2022 年 8 月 | 11 人 | 112 時間 |
| 2022 年 9 月 | 9 人 | 84 時間 |

【所感】

社会参加をし、様々な経験を楽しみながら成長を見守りたいと考えています。

【今後の展望】

ガイドヘルパーを増やし、当事者が社会参加ができるようにより良い支援・活動へ繋げていきたいと思っています。

【こぼれ話】

・一人だと出かけるのが不安だったけどヘルパーさんと一緒に出かけられて行きたい場所に行けて嬉しかったです。
 ・好きな事をとてもよく知っていて教えてくれてびっくりしました。

③ お出かけ事業(再掲)

④ ユニバーサルツアー推進(再掲)

⑤ 就労継続支援 B 型事業 (IKIINKI カンパニー)

【事業概要】

通所による、就労や生産活動の機会を提供(雇用契約は結ばない)するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった者は、一般就労等への移行に向けた支援を実施します。

事業開始:令和 4 年 1 月
 スタッフ: 富永・早川・星野・鈴木
 古田中・後藤・福田・山野上
 活動日時:平日、10:00~16:00
 活動場所:事業所及び市内イベント
 関係機関等:障害福祉各関係機関
 受益対象者:市内全域のサービス受給対象者
 支出額:13,842,130 円

【活動実績】

今年3月利用登録2名からスタートし現在(身体・知的・精神障害の方)計7名の登録。
1日あたり3~4名が通所し自主製品の作成・販売、受注作業に取り組んでいます。

【所感】

開所当時は、利用者確保に向けた各関係機関への周知・営業、支援体制の整備、工賃作業の確保をほぼ手探り状態で進めてきたが、現在半年以上が経過し少しずつではあるが形になって来ています。

だが、利用登録者数が開所年間計画の半分以下に留まっているので、今後は安定した運営ができるよう利用者増の為の各関係機関への周知・営業活動を増やす必要があります。

【今後の展望】

来年3月までに利用者登録10名、日々利用者7名を目指します。

また、利用者の工賃を現在の時給150円から来年4月からは時給170円支給できるようにします。

⑥ 入院時コミュニケーション事業

【事業概要】

横浜市では、重度の障害がある方を対象に、入院時のコミュニケーションを支援する事業を実施しています。
この事業は、意思疎通に支援が必要な場合に、コミュニケーション支援員を入院先(精神科病院及び精神科病棟を除きます。)に派遣し、医療機関のスタッフとご本人との円滑なコミュニケーションをサポートするものです。

事業開始：平成22年4月
スタッフ：後藤、鈴木、山野上
活動日時：不定期
活動場所：支援対象者入院先 生活支援係
関係機関等：横浜市健康福祉局障害福祉課
受益対象者：0人

【活動実績】

コロナ禍において、病院への訪問が制限され、実施には至りませんでした。

【今後の展望】

コミュニケーションの難しい方にとって、入院時の不安と不便さは、大きな負担になると考えます。

日常の移動支援を行っている気心のしれた支援者が顔を出し、病院との意思伝達に役に立てるよう、支援者の育成と、利用者へのサービスの周知に取り組みたいと考えています。

(4) 市民活動団体個人の支援に関する事業

① 国土交通省認定講習

【事業概要】

高齢者や障害のために、公共交通機関を利用することが困難な方の移動支援をより安全、安心、快適に行うことができるようにするためのドライバー養成を目的に国土交通省認定講習を奇数月に2日間の講習を実施。

支えあつぷ安全講習を奇数月で月に戸塚自動車学校で1日間実施。

カスタマイズ講習、支えあつぷ講習を元に事業所のニーズの合わせたプログラムを提案

事業開始：平成19年
スタッフ：山野上、天野、奥本、小泉
活動日時：奇数月年6回開催
活動場所：戸塚自動車学校
関係機関等：横浜市中区社会福祉協議会
受益対象者：認定講習104人(6回開催)
支えあつぷ講習6人(3回開催)
カスタマイズ講習9人(2回開催)
支出額：1,152,436円

【活動実績】

開催件数 認定講習6回／支えあつぷ講習3回／カスタマイズ講習2回

【所感】

このところの受講者の割合として、福祉有償運送の運転者が減少しつつあり、施設送迎に従事する運転者の受講生が増加しているように感じています。

【今後の展望】

個別事業者の要望に合わせたカスタマイズ研修を、地域ケアプラザや介護保険施設、作業所、病院、放課後等デイサービス事業者などを中心に広げていきたいと思っております。そして積み重ねた研修実績を基に、「安全運転プラス利用者目線でのサービス」を必要とする福祉ドライバーの育成を必要としている事業所支援を展開することが可能と考えます。

② ガイドヘルパー・同行援護従業者養成研修

ア. ガイドヘルパー研修

【事業概要】

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業のうち、移動支援事業の適正な運営を確保するために支給決定を受けた障害者又は障害児に対して、適正な移動支援サービスを提供するガイドヘルパーの養成を目的とします。

【活動実績】

計画では年 6 回の実施を予定していましたが、今年は新型コロナウイルス感染の流行、夏季オリンピック開催もあり、4 回しか実施できませんでした。

知的は 4 回実施し、83 名が受講。全身性は 3 回実施し 29 名が受講。合計 112 名が受講しました。そのうち受講者の日程の都合により一回の研修で修了できない等の理由で、修了は 107 人になりました。

定員：R2 年 3 月よりコロナ感染対策のため、定員を知的約 16 名、全身性約 12 名の人数に減らしていましたが(R1 年 10 月～R2 2 月までは知的約 20 名、全身性 10 名以上)、会場をセルテ 6 階の広い部屋に変更し、26 名まで定員を増やしました。

○ 講師について：講師陣は好評で安定しています。前年度に引き続き、服部一弘（現協議会理事長）、渡邊昭宏氏（元養護学校副校長）、橘高敏也氏（特別支援学校教師）、櫛田美知子氏（一般社団法人 Smile Again）、磯部浩司氏（当会理事、自立生活センター 自立の魂）、平野道器氏（一般社団法人アートゴー）、後藤まゆみ（協議会）各氏が講師を務めており、西脇太郎（協議会）に代わり、今年度から松島祐治氏（社会福祉法人 ヘルパーセンターやまびこ）、福西浩之氏（社会福祉法人ヘルパー・ステーションさくら草）が加わりました。

○ 受講料：他の事業所と比較しても比較的受講料は安く R2 年 9 月より改定した「知的」22,000 円、「全身性」22,000 円、両課程 40,000 円で行っています。

○ コロナウイルス感染症が流行したことで、前年度は保土ヶ谷区社会福祉協議会との共催が延期となりましたが、今年は 4 月、5 月に無事開催することができました。来年度も行う予定です。

【所感】

○ 演習への当事者参加の強化を計画していましたが、コロナ禍で当事者の感染に対して慎重にならざるを得ず、また実習ではなく演習に変更する等したため、強化については来年度以降に持ち越します。

事業開始：平成 25 年 7 月（知的障害者）
平成 29 年 4 月（全身性）
スタッフ：山野上、後藤、山口、
正城、加賀見
活動日時：年間約 6 回
（知的…3 日、全身性 3 日/1 研修につき）
活動場所：横浜移動サービス協議会共有スペースまたはセルテ 6 階会議室・演習で
外出あり
受益対象者：112 人
支出額：3,752,107 円
※同行援護従業者(P12)支出も含む

| ガイドヘルパー研修 開講月 | 受講者数(人) | |
|------------------|---------|--------|
| | 知的 | 全身性 |
| R2 年 11 月 | 15(14) | 8(8) |
| R3 年 2 月 | 26(26) | |
| R3 年 4 月 | 16(14) | 11(11) |
| R3 年 7 月 | 26(24) | 10(10) |
| 計 | 83(78) | 29(29) |

- 滞っていた受講生アンケートを web で回答、集計できるようにしました。回答がグラフ化されるようになり、受講生の意見がわかりやすくなりました。まだ活用には至っていませんが、今後受講生の意見を研修へ反映して研修の充実に繋げていく予定です。



知的の講義[保土ヶ谷区社協 会議室にて]

ベテラン講師により、当事者と支援者のそれぞれの立場をわかりやすく講義します。

コロナ感染予防の対策は万全を期しています。

【今後の展望】

今年度はコロナ禍で、障害者施設の活動が控えめだったことから職員に研修を受けさせる事業所が多かったように思います。現在、コロナが収まりつつありますが、今後事業所が元通りに事業を展開していき、職員に研修を受けさせる余裕がなくなり、個人は活動範囲が広がり、研修等自己研鑽への時間が減っていくと感じています。今後は、研修の回数を申込者の様子を見ながら、回数を絞って、1回の研修で多くの受講生が研修を受けられるように、工夫していきたいと思っています。

【こぼれ話】

研修後のアンケートから～

- ・体験を踏まえた話。講師の方がその分野で分かれての1日講習。資料からではなくスライドを見ての解説。受講しやすいポイントを踏まえての話しが良かったです。
- ・各分野の講師の先生達のお話は、大変ためになりました。お話もこちらを飽きさせないように工夫されていたと思います。時間が経つのが早かったです。
- ・経験豊富な先生方の、研修内容が実際の現場と合っていて、有意義な内容を聞いて良かった。

～このように受講者の殆どの方が満足されたと回答くださいました。

今後のアドバイスとして、

- ・現実に起こった事故や問題などのお話も聞いてみたかったです。という回答もありました。

良くなかったこととして、

- ・1日目の午後の研修中、事務所の中からの雑談や笑い声が聞こえたのでこれは講師にも失礼ですし、研修生にも集中できない環境だと思います。
- ・マスクで聞こえないことがあった。経験豊富な先生のお話をきけるチャンスが、ほとんど聞こえなくて残念でした。等、マスクで声が聞きづらいという感想が多く見られました。貴重なご意見を今後の研修に活かして参ります。

イ. 同行援護従業者養成研修



【事業概要】

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業のうち、移動支援事業の適正な運営を確保するために支給決定を受けた障害者又は障害児に対して、適正な移動支援サービスを提供するガイドヘルパーの養成を目的とします。

【活動実績】

計画では一般 3 回、応用 4 回の実施を予定していましたが、夏季オリンピック開催、また応用課程の受講生が集まりにくいことから、計画の段階で応用は 3 回に変更しました。また、新型コロナウイルス感染症が大流行したため、9 月に予定していた研修を中止にしました。

一般課程3回実施し 46 名が受講。応用課程2回実施し 12 名が受講。合計 58 名が受講しました。うち、受講者の都合で一回の研修で修了できなかったため2回に分けて受講したため、修了者は 57 名になりました。

定員：R2 年 3 月より新型コロナウイルス感染対策のため現在約 15 名の人数に減らしています。(R1 年 10 月～R2 年 2 月までは約 20 名。)

講師：松村道生氏(Blindelux・全盲)、安藤将大氏((株)19・弱視)、高山ちひろ氏(全盲)、岩屋芳夫氏(盲特別支援学校教諭)、後藤まゆみ(協議会)各氏に加え、清野智佳子(特定非営利活動法人 横浜市視覚障害者福祉協会)氏が加わりました。

○ 2018 年度から新たに「障害者居宅介護従業者基礎研修」制度と変更・移行し、従来ガイドヘルパー養成研修(視覚障害)として受講した人は、ヘルパーとして認定されず、視覚障害事業所は再受講(一般課程)が必要となりました。受講日も働いている人が受講し易いように開講日を土曜日、日曜日などや休日に開講しており、コロナウイルス感染症が流行ったことで一般課程の受講者数は増えています。反して、応用課程については募集人数に足りないことが続いており、年間の応用課程の回数を減らす方向です。

○ R2 年 10 月より「一般課程」22,000 円、「応用課程」24,000 円、同時受講 42,000 円に改定しています。

今年度もコロナ禍で研修を実施してきましたが、R2 年 10 月一般課程で研修終了後にお一人コロナ感染されていたことが判明しました。演習も行ってた中で、他へのスタッフ及び受講生に感染者が出なかったことは、感染対策を万全にしていたことが一番大きな理由だったと思います。今後も気を緩めることなく感染対策を行って参ります。

また、R3 年 8 月には、コロナウイルス感染症が爆発的に流行し、9 月に実施予定だった一般課程研修を念のため中止としました。11 月の開催を予定しています。

事業開始：平成 30 年 5 月 (一般課程)
平成 30 年 5 月 (応用課程)
スタッフ：山野上、後藤、山口、正城、加賀見

活動日時：年間約 5 回

(一般…3 日、応用 2 日/1 研修につき)

活動場所：横浜市民共同オフィス共有スペースまたはセルテ 6 階マルチスペース・演習で外出あり

受益対象者：58 人

支出額はガイドヘルパー研修(P10)に含む

| 同行援護 開講月 | 受講者数(人) | |
|-------------|---------|--------|
| | 一般 | 応用 |
| R2 年 10 月 | 18(18) | 6(5) |
| R3 年 3 月 | 14(14) | |
| R3 年 5 月 | 14(14) | |
| R3 年 6 月 | | 6(6) |
| R3 年 9 月 | 中止 | |
| 計 | 46(46) | 12(11) |

【所感】

予定していた講師の変更が時々あります。講師への事前連絡の不行き届きについては、早めの連絡をすることで防げるので、今後は年間計画を年度初めに講師へお渡しすることにします。また、講師の体調等での急な変更に対応できるよう、いざという時に講師をお願いできる人脈作りも必要だと感じています。

同行援護の演習

二人一組で一人はアイマスク(もしくは危険を考慮して目を瞑る)をし、白杖を持った利用者役、もう一人はヘルパー役を担当し、ガイドします。



【こぼれ話】

研修後のアンケートから一部抜粋～

<応用講座の感想>

- ・サービス提供責任者として必要な知識(法律、制度)&スキルを、座学&演習でしていただけると嬉しいです。

<一般講座の感想>

- ・三日間ありがとうございました。2日間同じ方とペアだったので、交代があるとよいと思いました。(同性の方ともやりたかったです。)
- ・自分の中では普段以上にリアクションしたつもりですが、先生方へのリアクションが薄く、思い返しても反省です。普段からあまり喋らないので、同行援護中にも言葉がするすると出てこないなあと思いました。来月初めの同行援護の予定があるので、復習してがんばります。素敵でわかりやすくお話が面白い講師の方々に、あたたかく恵まれた研修に参加させてもらったなあと思っています。ありがとうございました。
- ・受講内容のわかりやすさ、感謝の言葉が多く見られました。講師の先生方の充実した講義のお陰です。また、受講者も必要なスキルの習得だけでなく、色々な気づきをされていることがわかります。今後も、受講者の方に満足していただける研修を行っていきたいと思います。

③横浜市障害者ガイドボランティア事業事務取扱

ア. 横浜市障害者ガイドボランティア

【事業概要】

支援対象者(移動支援を希望する障害者)に必要な付添(ガイド)をボランティアが行う際、横浜市が一定の要件を満たす活動に奨励金を支給し、当会が活動報告をとりまとめ、市に請求し、奨励金振込を代行します。

事業開始:平成20年1月より参画
スタッフ:江口、後藤(ま)、斉木、石井
関係機関等:社会福祉協議会、地域ケアプラザ、
地域団体
スタッフ人数:4人
受益対象者:416人(ガイドボランティア及び支援対象者)
支出額:3,002,550円

【活動実績】

一昨年～今年とコロナ禍で、支援対象者とボランティア双方が感染予防対策徹底により、活動自体が自粛モードとなり、新規、更新登録も敬遠気味の中、移動支援は必要不可欠なのでお互い充分気をつけて活動する前提で、なんとか登録のご理解と継続をお願いしました。

今年度は支援対象者、ガイドボランティアのそれぞれ登録数が約10%強減少となったが、月平均活動数は6%減となりました。

| 登録者数 | R 3 年度 | R 2 年度 | R1 年度 | H30 年度 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|
| ガイドボランティア | 246 人 | 278 人 | 268 人 | 314 人 |
| 支援対象者 | 170 人 | 195 人 | 195 人 | 268 人 |
| 月平均活動数 | 1,238 回 | 1,318 回 | 1,212 回 | 1,823 回 |

イ. 横浜市障害者ガイドボランティア研修

【事業概要】

横浜市ガイドボランティア事業を広く周知してもらうことを目的としています。

ボランティア登録した後は、安全に活動してもらえよう障害者理解やボランティア活動体験などの研修を行います。

事業開始:平成 20 年 11 月より参画

スタッフ:江口、後藤(ま)、斉木

活動数:年 4 回開催

スタッフ人数:3 人

活動場所:社会福祉協議会、地域ケアプラザ、他

受益対象者:416 人

(ガイドボランティア及び支援対象者)

支出額:68,900 円

【活動実績】

| 開催日 | 場所 | 内容 | 参加人数 |
|------------------|-------------|---------------------|------|
| R3. 11/5 | 東戸塚地域ケアプラザ | 全身性障害 | 6 |
| R3. 11/27 | 若葉台団地 | 全身性障害 | 19 |
| R4. 3/5. 25. 31 | 横浜移動サービス協議会 | 全身性、知的、視覚障害 | 24 |
| R4. 3/31. 19. 26 | 全身性、知的、視覚障害 | ガイドボランティア研修会 (3 日間) | 15 |
| R4. 8/18 | 横浜移動サービス協議会 | 通学时集団見守り研修会 1 回目 | 3 |
| R4. 8/20 | 波止場会館 | アークシップ向け全身性障害研修会 | 24 |
| R4. 8/25 | 横浜移動サービス協議会 | 通学时集団見守り研修会 2 回目 | 8 |
| R4. 9/30 | 横浜移動サービス協議会 | アペリティーヴォ車いす介助体験研修会 | 1 |



今年度もコロナ禍でリアル参加と Zoon 参加とで参加しやすいように設定したので、より多くの皆さんへ情報発信と情報交換することが出来ました。

ガイドボランティア活動の一環で養護学校、特別支援学校の通学时集団見守りを実施されておりますが、この度工藤建設(株)様からグリーンバスのための寄付を頂き製作出来ました。各ボランティアに配布できることとなり、各学校訪問し日頃の御礼とご挨拶を行いました。

寄付提供頂いたグリーンベスト



背面拡大写真



【所感】

特に、コロナ禍でのガイドボランティア活動を行うためには、平常時と異なりより緻密な状況が分かった上で声掛け発信する必要があると実感しました。

今年度もガイドボランティア活動(依頼要請～ボランティアへの打診～コーディネート)を推進する上で、常日頃から対象の皆さんの状況把握がいかに大切かを思い知らされました。定期的なアンケート調査活動や情報交換(今後のネットワーク構築など)、まだまだやることが沢山あると思う一年でした。

【こぼれ話】

10年にも亘るガイドボランティア活動を続けていたボランティアが都合で急遽遠方へ引越してしまったので、他のヘルパーを利用することになったが、支援対象者が落胆のあまり外出しなくなってしまうので、困った母親が引っ越ししたボランティアに事情を話したところ、時々横浜(宿泊交通費がかかる)へ来てガイドボランティア活動を行い、徐々にヘルパー利用に慣れてもらおうという事になりました。

ガイドボランティア活動を通じて育まれた絆が、単なる支援対象者とボランティアの枠を超えた強い結びつきとなっています。

④横浜市重度障害者福祉タクシー利用券換金業務代行

【事業概要】

横浜市重度障害者福祉タクシー利用券取扱事業者と当会が換金協定を締結し、横浜市に対して

各事業者が利用者から受け取った福祉タクシー券の換金業務を代行します。

【活動実績】

換金実績: 97,563,050 円 換金月平均実績: 8,130,254 円

換金枚数: 196,259 枚 換金月平均枚数: 16,355 枚

換金協定締結事業者総数: 552 事業所

事業開始: 平成 19 年 10 月

スタッフ: 奥本、後藤、石井、鈴木

関係機関等: 横浜市在宅重度障害者福祉タクシー利用券取扱事業者(一般タクシー・福祉有償運送事業者・介護タクシー等)横浜市健康福祉局障害福祉部障害自立支援課

受益対象者: 身体障害者手帳・愛の手帳所持者で条件を満たす方

支出額: 2,837,595 円

| 月 | 枚数(枚) | 換金額(円) | 手数料(円) | 総額(円) |
|----|---------|------------|-----------|-------------|
| 10 | 18,871 | 9,381,102 | 283,065 | 9,664,167 |
| 11 | 23,118 | 11,485,236 | 346,770 | 11,832,006 |
| 12 | 19,591 | 9,740,144 | 293,865 | 10,034,009 |
| 1 | 20,560 | 10,228,915 | 308,400 | 10,537,315 |
| 2 | 13,904 | 6,914,766 | 208,560 | 7,123,326 |
| 3 | 22,279 | 11,093,380 | 334,185 | 11,427,565 |
| 4 | 11,282 | 5,609,022 | 169,230 | 5,778,252 |
| 5 | 12,014 | 5,976,033 | 180,210 | 6,156,243 |
| 6 | 14,909 | 7,406,388 | 223,635 | 7,630,023 |
| 7 | 11,986 | 5,955,629 | 179,790 | 6,135,419 |
| 8 | 10,232 | 5,074,660 | 153,480 | 5,228,140 |
| 9 | 17,513 | 8,697,775 | 262,695 | 8,960,470 |
| 合計 | 196,259 | 97,563,050 | 2,943,885 | 100,506,935 |

今年度も新型コロナウイルス感染予防対策の影響がある中、枚数は昨年の月平均を 6,000 枚超え、換金月平均は 3,000,000 円を越え、例年以上の実績でした。1 枚 15 円の手数料により、例年総額実績を上回る結果となり、換金作業のモチベーションにも繋がりました。

また、事業者からの問い合わせも多く、新規で 34 事業者と換金協定を締結しました。新たな取り組みとして、事務局が担っている換金作業の一部である事業所から提出されたタクシー券の枚数確認を「IKIKI カンパニー」に委託しました。

【所感】

長引くコロナ禍でタクシー事業所からの締結に関する相談が多く、飲食店等から副業を強いられている様子が伺え、複雑な心境になります。利用できる事業所が増えることで外出の機会が広がることを期待したいです。

今後も横浜市の制度や事業所の現状について理解を深め、利用者の生活(移動の先にあるもの等)を想像しながら事業展開ができるようになりたいと考えています。

【今後の展望】

今年度は(株)アイネット様と連携し、「よこはま配車コーディネーターセンター(仮称:お出かけ相談室)」の検討を重ねて来ました。アイネット様が開発されたシステムを用いて、タクシー事業者と移動を希望する利用者を結び付けるため、引き続き当会の持つネットワークとノウハウを活かした付加価値を提供する配車コーディネート事業の展開をめざし、締結タクシー事業所との意見交換の場を設けます。

また、タクシー券利用者状況の把握に努め、当会の果たすべき役割を確認しながら事業に反映させます。

【こぼれ話】

年度末締切と有効期間の関係

タクシー券は事業所の換金締切と利用者の有効期間に半年のズレがあり、例年混乱を招きます。

換金は年度毎に行われ、締切に間に合わない場合、年度実績にならず事業所は大変です。そのため当会からも4月の締切は各事業所への連絡を徹底しています。

一方、利用者の有効期間は前年 10 月 1 日から当年 9 月 30 日となっており、期間内にタクシー券を消化するため利用増加の傾向があります。その流れで事業所から換金対象にならない前年 10 月から3月分のタクシー券が提出され、換金にも利用者の再利用にもならない場合があります。

⑤団体活動支援

【事業概要】

団体運営や許認可等の相談の対応を行います。

【活動実績】

- ゆめクラブ神奈川(公益財団法人 神奈川県老人クラブ連合会)主催 2022 年 2 月 17 日 地域支援事業 担い手養成研修 シンポジウムに「みんなで創る地域の支え愛」というテーマで講師参加

「生活の助け合い」

南足柄市 おたがいさまネットの有償ボランティア活動

湯河原町 地域をみんなで支え合う為に

寒川町 シニアクラブお助けマンサークル

講演:「みんなで創る地域の支え愛」 山野上啓子

「ICT を活用した助け合いのつながりづくり」

三浦市 まずはスマホに慣れてみる

伊勢原市 モデル事業実施

大和市 モデル事業実施

講演「デジタル活用支援員の活用について」写真整理協会 浅川 純子

- 寒川町小谷パールクラブ 勉強会
福祉有償運送と許可登録を要しない活動について
- 西区第 3 地区 お出かけ3に若葉台団地を紹介

⑥団体連携

【事業概要】

令和4年度利用者向けデジタル活用支援推進事業(地域連携型)

共同オフィス入居団体と連携して、スマホの活用方法が学べる「デジタル活用支援講習会」を開催しています。

総務省事業として、デジタル活用に不安のある方々のために、基本的なスマホの使い方から、様々なオンライン手続の利用方法まで、身近な場所で学べる「デジタル活用支援講習会」を全国各地で実施しています。

「せっかくスマホを買ったのに使い方がわからない」という方、「アプリやオンライン手続を利用できるようになりたい」方、高齢者の方、初心者の方・・・どなたでもご参加可能です。講師が丁寧にわかりやすく説明し皆様のデジタル活用に関する不安を解消します。

【活動実績】

9/14 電源の入れ方、ボタン操作方法、電話のかけ方、カメラの使い方

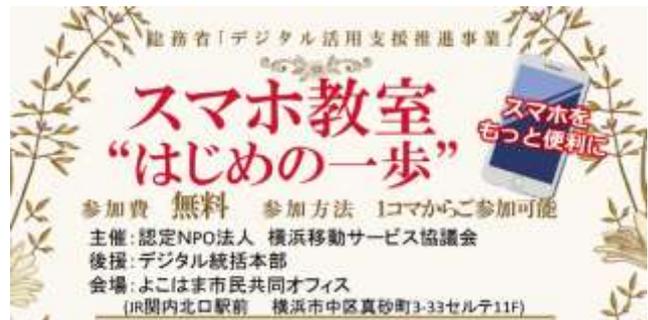
アプリのインストール方法、インターネットの利用方法
マイナンバーカードの申請方法

9/17 アプリのインストール方法、インターネットの利用方法

オンライン診療の利用方法、新型コロナワクチン接種証明書アプリを用いた接種証明書の発行方法
マイナンバーカードの申請方法

9/26 メールの利用方法、地図アプリの利用方法

SNS・コミュニケーションアプリの利用方法等
マイナンバーカードの申請方法



【所感】

この事業に応募するにあたり、横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業(サービス B)アペリティーヴォの所轄である中区高齢支援課を通して、横浜市デジタル統括本部と連携して取り組むことができました。

【今後の展望】

アペリティーヴォ、IKIINKI カンパニー等の事業につなげていく可能性が様々あると感じています。

フリマアプリを活用し、断捨離や終活などに関心があっても、手放しにくい思い出の品を必要な人の元に贈るという観点でフリマアプリの利用者層が高齢化し、シニア層の利用が2年で30倍に増えているというニュースもあります。

この事業の延長として、フリマアプリの概略からアプリのインストール、楽天への会員登録、また商品の探し方や具体的な出品の方法までがレクチャーをプログラム化します。

【こぼれ話】

歩けない、腰が痛いなど、外出に興味を失っていた人たちが、誘い合わせて、受講者が増えています。何度でも、同じことが聞けるということも好評です。

(5)高齢者及び障害を持つ人等が利用しやすい交通システム・まちづくりの学習検討提言に関する事業

①学習会、交流サロン、シンポジウム等の開催 花時計プロジェクト

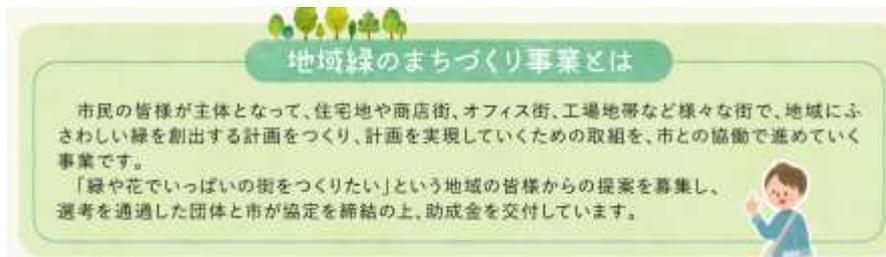
運河パークにある横浜開港 150 周年祭で作られた日時計の花壇を近隣のボランティアとともにお世話しています。
(株)アイネット様、ナビオス横浜様、横浜みなとみらい 21 様のご支援を頂いて活動しています。

事業開始：平成 25 年 4 月
(花時計プロジェクト)
地域緑のまちづくり 令和 4 年 4 月 1 日
スタッフ：牧野、丸岡、山野上
活動日時：不定期
活動場所：よこはま市民共同オフィス
関係機関等：
(社) 関内まちづくり振興会、町内会等
受益対象者：横浜市民

【事業概要】

花時計プロジェクトのメンバーが、地域緑のまちづくり「関内桜通り誰にでも手が届く緑化プロジェクト」推進団体“花・草・木”の事務局を引き受けました。

ユニバーサルな視点で、高齢者、障害者、子育て世代など誰でも楽しめる、“緑のさんぽみち”をつくります。車椅子利用の人もベビーカーの子どもたちも一緒に楽しめたり、香りや触感を楽しむなど、多角的な緑化の楽しみ方を模索します。



【活動実績】

関内桜通り地区令和 4 年度地域緑化活動支援事業その 2(第 1 回勉強会)
テーマ「関内桜通り 緑と花との付き合い方」開催

ひとの心に響く「桜通り」の呼称を呼びかけ手段とし、上記タイトルで講演会を企画し、近隣に 2000 部のチラシ投函すし、地域緑化活動の存在をアピールしました。

<日時> 2022 年 9 月 17 日(土)10:00 から 12:30

<場所> 神奈川県横浜市相生町 2 丁目 52 泰生ポーチ ※オンライン発信併用

<内容>

1) 誰にでも手が届く緑化研究会「花・草・木」について

「関内桜通り 誰にでも手が届く緑化プロジェクト」の緑化計画の概要説明

2) 関内桜通りの緑化の歴史 地域住民の方のお話

3) 樹木医和田博幸様による地域緑化住民活動についてのお話

【所感】

地域の 10 団体との協働事業となります。多様な人たちとの地域でのつながりが広がっています。

【今後の展望】

令和 5、6 年度に、本格実施していきます。関内駅前の再開発と連動した緑のまちづくりを目指します。

②要支援者を交えた防災・減災のための取り組み

【事業概要】

中区自立支援協議会災害時支援プロジェクトに参加しています。

【活動実績】

災害時支援プロジェクトの他に、「中区の防災を考える会」があり、

同じ中区内の発災時の為の備えを検討する場の為、協同なのか役割分担なのかなどを検討しています。

現状では R3 年度でプログラムを終了する意見とはならず、今後の活動には判断が必要なため、今一度 4 月より出来る限りの構成員で継続しています。はだしの邑 渡部氏が退職し、代表は高田氏となりました。中区基幹相談支援センター 阿部氏の退職に伴い、松本氏に変更となっています。

事業開始：平成 23 年 3 月
スタッフ：服部、南部
活動日時：不定期
活動場所：横浜市内
関係機関等：横浜市中区自立支援協議会
受益対象者：市内高齢者及び障害者等移動困難者

【今後の展望】

令和4年8月29日の会議で、

- 避難訓練参加状況アンケートを取ることになりました。10月上旬にグループホームと作業所にメール添付で送信、10月末締め切りを予定しています。
- 発災害時の電源確保の体験会を、11月7日(木)に予定をしており、東電への連絡は南部氏が対応しています。

(6)公共交通機関、医療機関、福祉機関、行政、社会福祉協議会、福祉活動団体などとの連携・協働に関する事業

①横浜市等関係部局との連携

【事業概要】

関係部局で実施される委員会等に委員を選出し、情報収集と連携を深めています。

【活動実績】

横浜市福祉移動サービス運営協議会 委員 服部理事長
神奈川区社会福祉協議会 移動情報センター推進委員会 委員 山野上副理事長、斉木
保土ヶ谷区社会福祉協議会 移動情報センター推進委員会 委員 江口
福祉のまちづくり推進会議小委員会 委員 服部理事長

【今後の展望】

移動に関わる制度・サービスは、当会創立時と状況が大きく変動しています。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛と担い手の不足が大きな課題となっています。

今後のニーズの把握、新しい移動支援の模索、ネットワークの連携の形についての検討が必要となっています。

(7)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

①よこはま市民共同オフィスの運営管理

【事業概要】

横浜市民活動共同オフィスの卒業団体が中心になって、共同事務所を設立し、入居団体による「町内会」によって運営しています。

【活動実績】

隔月で、長屋会議(自治組織)を開催し、意見交換や利用にあたる協議をしています。

【今後の展望】

2022年8月3日に、下記の発表がありました。2025年拠点移転を検討することになります。
「関内駅前北口地区再開発協議会は、横浜市中区真砂町3丁目及び港町3丁目地内にオフィスや店舗、住宅で構成する地上24階、地下1階、高さ120m、延べ面積34,500㎡の再開発ビルの建設を検討しています。2025年度の着工、2029年度の完成を目指しています。」

【こぼれ話】

長く入居され、運営に協力いただいていた NPO 法人ハマトラ・ヨコハマフットボールネットワークさんが退去となりました。横浜 F・マリノスの試合告知ポスターの掲示活動をサポーターのボランティアにより実施したり、サポーターのためのフリーペーパー発行や情報交換 web コミュニティサイト「hamatra SNS」の運営などを、NPO 法人ハマトラの企業サイト「hamatra.com」の企画・開発・運営をされています。残念ですが、今後のご活躍をお祈りしています。

事業開始：洋服会館平成21年4月1日
セルテ移転 平成25年4月1日
スタッフ：山野上
活動場所：セルテ11F
関係機関等：紙芝居文化推進協議会、シニアSOHO横浜・神奈川、横浜発明振興会、ハマトラ・横浜フットボールネットワーク、シーホース音楽工房、横浜開港アンデパンダン展実行委員会、太平洋美術会神奈川支部、一般社団法人アートゴー、NPO アースエコ

②その他この法人の目的を達成するために必要な事業

共通 本部支出額:5,553,413円